



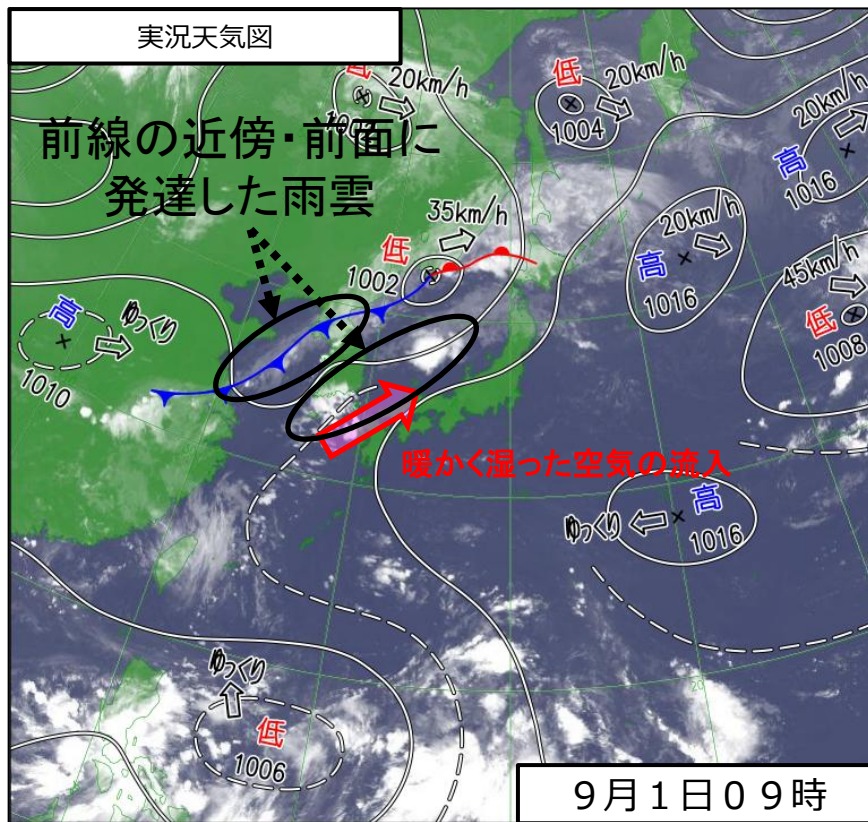
＜ポイント＞ 前線や暖かく湿った空気の影響により、**秋田県では、1日夜から3日までの長時間にわたって、断続的に雷を伴った非常に激しい雨が降り、大雨となる所がある。**

＜概況＞ 低気圧が千島近海へ進み、低気圧からのびる前線が3日にかけて東北地方を南下する。前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、東北日本海側を中心に、大気の非常に不安定な状態が続く。

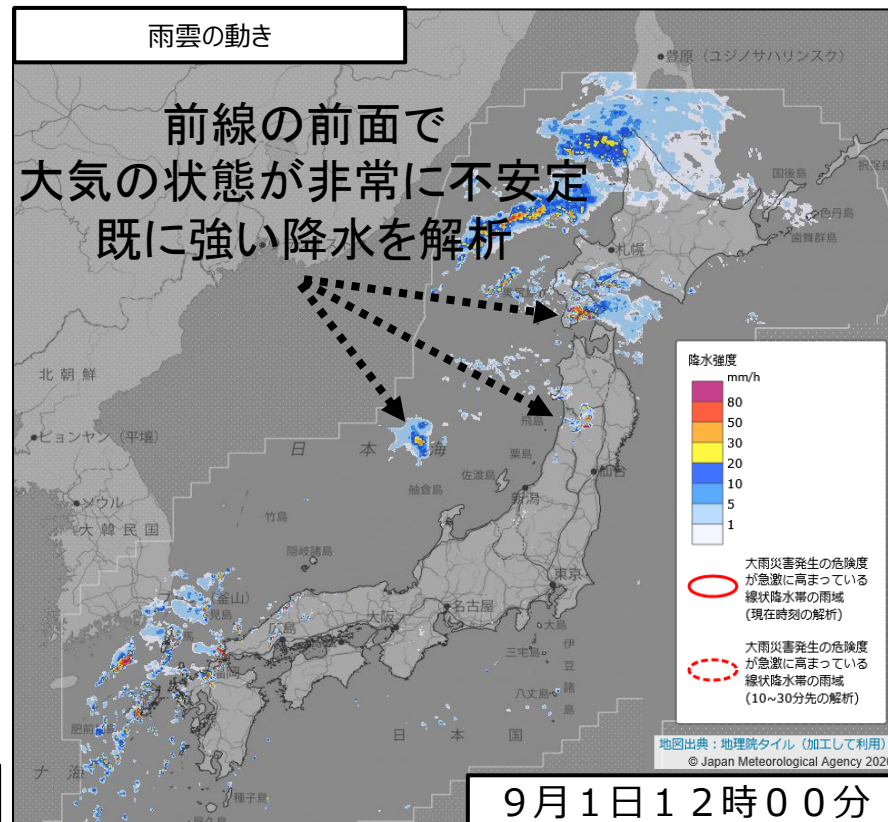
＜大雨＞ 秋田県では、**3日にかけて平年の9月1か月分を上回る降水量となる所がある見込み。**

＜警戒事項＞ 秋田県では、**土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。** 竜巻などの激しい突風や落雷に注意。

天気図・衛星画像・雨雲の動き



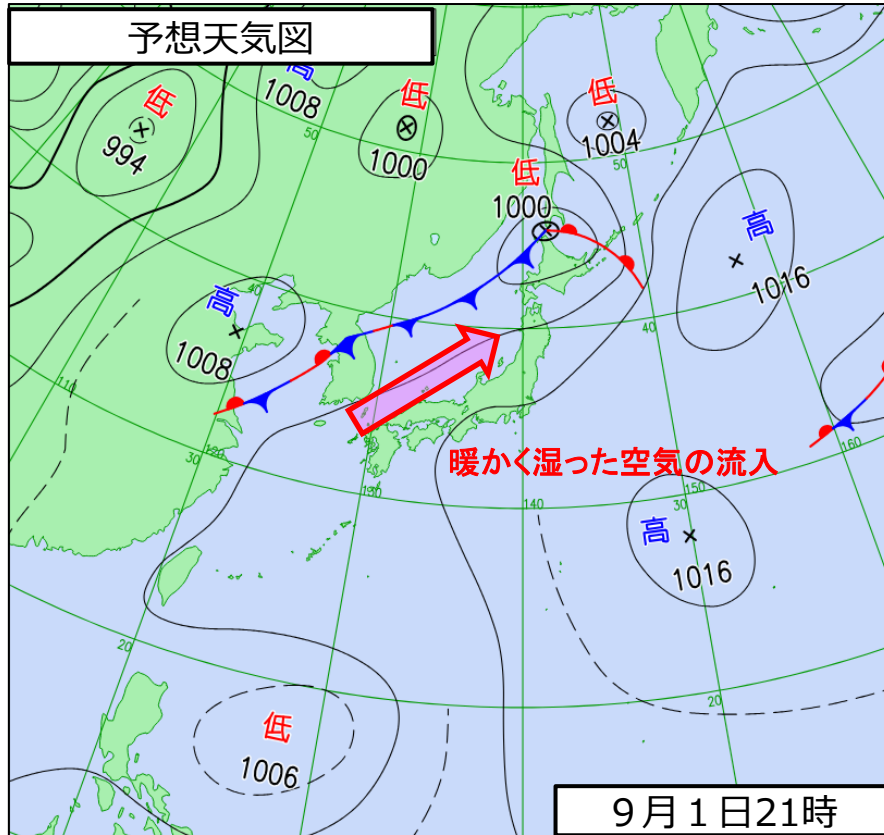
実況天気図と衛星画像
(9月1日09時)



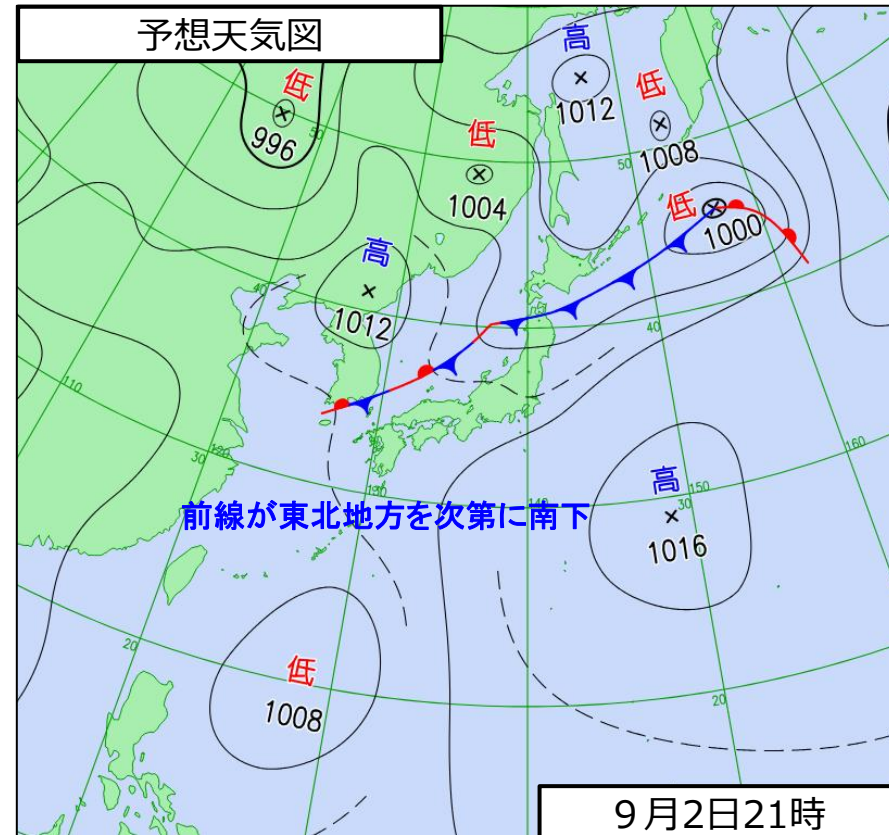
雨雲の動き
(9月1日12時00分)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図：https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

予想天気図



予想天気図
(9月1日21時の予想)



予想天気図
(9月2日21時の予想)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図: https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

大雨の警報級となる可能性のある期間

大雨の警報級となる可能性のある期間
(■ 可能性がある、■ 可能性が高い)

秋田県沿岸		1日		2日			3日	4日	5日	6日
警報級の可能性		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雨		[中]	[中]		[高]		[高]	-	-	-
大雪		-	-		-		-	-	-	-
暴風(雪)		-	-		-		-	-	-	-
波浪		-	-		-		-	-	-	-
高潮		-	-		-		-	-	-	-
秋田県内陸		1日		2日			3日	4日	5日	6日
警報級の可能性		12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雨		[中]	[中]		[高]		[高]	-	-	-
大雪		-	-		-		-	-	-	-
暴風(雪)		-	-		-		-	-	-	-

＜秋田県の降水量の見通し＞ ※いずれも多い所で

		1日			2日								3日			
		15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時
		夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く				
雨(R1)	沿岸	30	40	40	40	40	50	50	40	40	40	40	30~50	30~50		
	内陸	30	40	40	40	40	50	50	40	40	40	40	30~50	30~50		
警報級の可能性(雨)		全域[中]					全域[高]									
雷	秋田県															
風 (メートル)	沿岸海上	10	10	10	10	10	10	13	13	13	10	10				
	沿岸陸上				10	10	10	12	12	12	10	10				
	内陸															

■ 警報級 ■ 注意報級

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

今後の雨の予想

【大雨の見通し】（単位：ミリ）いずれも多い所で

秋田県	2日12時までの 24時間雨量	1日から2日にかけての1時間雨量	3日12時までの 24時間雨量
沿岸	120	50	100
内陸	120	50	100

線状降水帯が発生した場合は、さらに降水量が増える可能性

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
（気象情報：<https://www.ima.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>）

警戒事項

1日夜から3日までの長時間に渡って
断続的に非常に激しい雨が降る見込み

土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に
厳重に警戒

➤ 長時間の大雨となる見込み

- 市町村の避難情報に留意・早めの避難
- 農業施設、用水路等の見回りや不要不急の外出はしない
- がけや溪流、増水している河川に近づかない

現時点で線状降水帯の発生や特別警報発表の予測はないが、

- 線状降水帯が発生すると、大雨災害発生危険度が急激に高まる可能性がある
※線状降水帯が発生しなくても、大雨となる可能性が高いことに留意
- 特別警報が発表されてからでは避難が難しくなる場合がある

大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認してから避難することはできない。



平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！

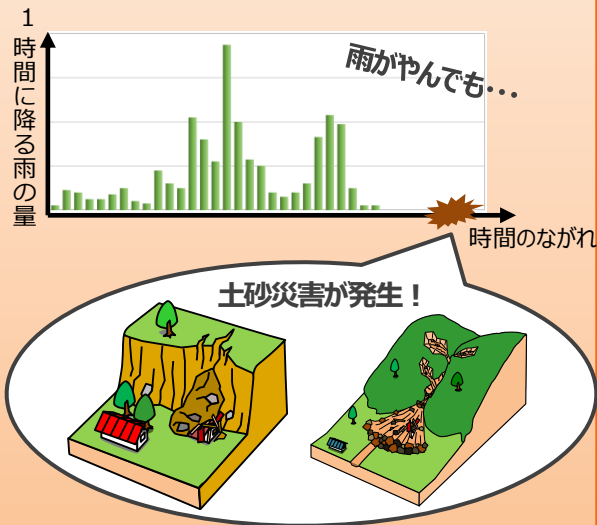


大雨による災害の留意事項②

大雨がやんでも…

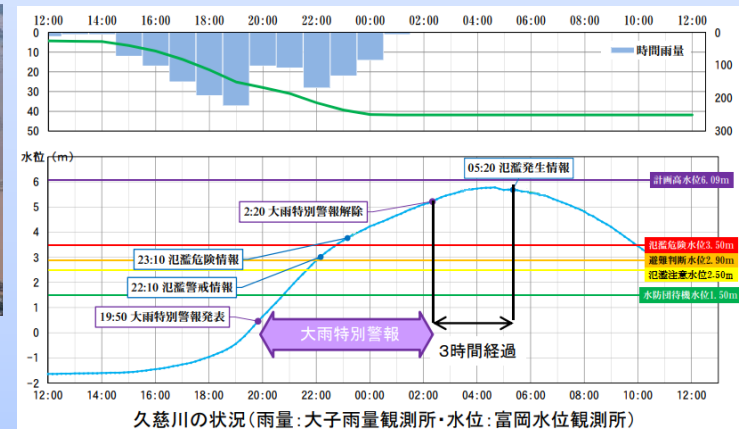
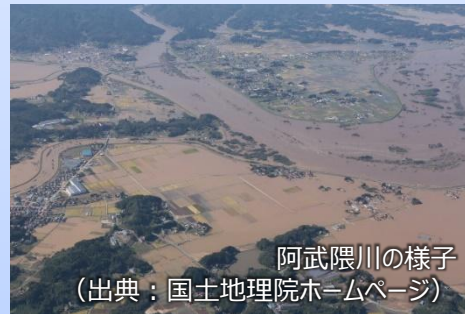
土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



油断禁物！ 大河川は時間差で増水

大河川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



[@JMA_bousai](https://twitter.com/JMA_bousai)

気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやX（旧Twitter）をご覧ください。



- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/flow.pdf

https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf